

# コミュニティ・スクールだより



第28号

名張市教育委員会事務局発行  
令和4(2022)年1月5日

## 学校と地域の連携・協働

### 地域を考え 地域に発信！！

### 交通安全標語、あいさつ標語の立て看板設置

つつじが丘・春日丘自治協議会では、1学期からつつじが丘小学校の6年生に交通安全標語を、南中学校の3年生にあいさつ標語を募集しました。該当学年の児童生徒が考えた標語を、地域住民や教職員が投票により各10点ずつ優秀作品を選びました。この取組は、3年目となりました。

また、選ばれた標語を記した立て看板も自治協議会の協力により、学校周辺に設置されました。

10月には、各学校では、自治協議会からの表彰式も行われました。

**育てたい子どもの姿の共有  
学校課題、地域課題の解決に向けて！**

南中  
校区

### 地域のコミュニティの輪を広げる標語展

12月、桔梗が丘自治連合協議会生活安全部会の主催で、桔梗が丘小学校、桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校の6年生に、地域コミュニティの輪を広げる目的に標語を募集し、児童たちの作品が桔梗が丘市民センターのロビーに展示されました。

子どもたちは、地域を安全・安心で笑顔あふれる住みよいまちにしたいとの思いで、交通安全、防災、環境、ごみ問題、あいさつ等の標語を考えました。

学校と地域が共通の目標や育てたい子どもの姿の実現に向けて、意図を持って連携・協働することにより、子どもを核とした地域づくり(スクール・コミュニティ)につながっていくことを願っています。

## コミュニティ・スクールのメリット・効果

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組みを導入することによるメリットとして、主に以下の3つが挙げられます。(参考:文科省 コミュニティ・スクールのつくり方)

### ① 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

### ② 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

学校運営協議会の協議や熟議の場を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

### ③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者全てが当事者意識をもち、「役割分担をして連携・協働による取組」ができます。

コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画していく仕組みです。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人にとって様々な効果が生まれます。

#### 【子どもにとって】

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって、安心・安全な生活ができます。

#### 【保護者にとって】

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

#### 【地域住民にとって】

- 経験を生かすことで、生き甲斐や自己有用感につながります。
- 学校が社会的につながり、地域のよりどころとなります。
- 学校(子ども)を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築につながります。

#### 【教職員にとって】

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により、子どもと向き合う時間が確保できます。

### 山口県の取組に学ぶ

11月1日に「地方創生フォーラムin山口」が開催され、研修用動画が専用Webページにて、令和4年1月末までご覧いただけます。下記URLから受付フォームにアクセスしてお申し込みください。

受付フォーム ▶▶▶ <https://business.form-mailer.jp/fms/dc1bf387157245>

桔梗  
3小